

高津区おはなしアーカイブ

●澁谷 一夫 (しぶや かずお)さん

昭和14年生まれ 75歳

川崎市高津区末長在住



◆代々の家のこと、ご家族のこと

戦争で寺、家が焼け過去帳がないのではっきりしたことはわかりませんが、一番古い墓石は延宝7年(1679年)です。335年前ですが、ここに住んでいたことを考えますと、約350年以上だと思えます。本家で言われているには、源氏の系統で九州での戦いに負けほうほうのていで逃げ延びてここに住み着いたのではないかと言われています。

お祖父さんは日露戦争に従軍して、亡くなったのは私が小学校の時、夏の暑い日、食中毒でした。その頃は冷蔵庫なんてまだなかったもので。

父は姉1人、弟4人の長男で、農業一筋、家族旅行なんかもほとんど行かなかった。行っても父抜きでした。家が焼ける前までは養蚕もやり、繭を出荷していました。

◆ご自身のこと

3人兄弟の長男です。高津中学に1年、橘中が昭和28年に開校第1期卒業し、高校に入学、昭和33年4月に東急電鉄に入社しました。初任給は7,000円くらいだと思います。自由が丘駅、旗の台駅等に勤めました。その後、橘農協(現セレサ川崎農協)に勤務しました。初めの給料は1万2,3千円くらいでした。喘息で昭和49年に退職し、その後は父と農業をして現在に至っていません。結婚は昭和41年、見合い結婚です。妻は荏田の農家の出です。田園都市線が長津田まで開通した年ですね。

子どもは、息子1人、娘2人です。息子は平成10年に結婚して、妻、子と3人でこの敷地内に家を建て、他市の市役所に勤めています。

地域のことはいろいろやりました。体育指導委員、民生委員、町会は会計、総務、副会長と38年間、JAセレサ川崎理事と、現在は杉山神社の奉賛会会長、明鏡寺総代をやっています。私の父は戦争に行っていますが、父の弟が戦死しました。最後は横須賀海軍病院でした。母の弟もシベリアのアルタイ州バルナウルで亡くなっています。

す。そのため現在は、高津区遺族会に世話になっています。

◆遊びのこと

田んぼを埋めて畑にする土を運ぶためにトロッコが引かれてあり、イタズラして遊びました。しかられもしたけど楽しい思い出です。

道路は砂利道で、車はめったに来ないので、道路や空き地で安心して遊べました。メンコ、ベーゴマ、けん玉、三角ベースなど、紙芝居も来ましたがよく後ろでタダ見してましたよ。将棋は近くに強い子がいて負けてばかりでしたが。

◆学校のこと

小学校は 20～30 分ジャリ道を通いました、橘小学校です。平屋建ての木造校舎、桜の古木がたくさん植えられていて見事でした。小学校入学時の写真を見ると下駄ばきでした。

新作 2 丁目には日本光学（現ニコン）、富士通の社員の住宅があり何故か「営団」と呼んでいましたが、身なりや勉強の力も違いました。

校庭の中心には国旗掲揚台、二宮尊徳像がありましたが、知らないうちに取り壊されました。これはアメリカの命令だったのかなー。

3、4 年生のころは教室が足りず、午前・午後の 2 部授業でした、今とは雲泥の差です。

中学 1 年生のときは高津中学校でしたが、1 年の思い出は階段脇で昼にパンやコロケは 10 円くらいだったかな、おいしかったですね。2 年生からは新しく創立された橘中学校に通いました。新校舎でしたが校庭には岩がごろごろ転がっていて、授業の時間に校庭整備をしました。高校も楽しい 3 年間でした。卓球部で部活に明け暮れましたが、出ると負けでした（笑）。

◆戦争のこと

初めに話したように、焼夷弾で家が焼けて怖かったですよ。家は藁ぶきだったからバーッと燃え上って、一面火の海、母が弟を抱いて私の手を引いて、裏の田んぼを無我夢中で近所の防空壕に逃げ込みました。

その時に明鏡寺や増福寺も合わせ 8 件焼けましたね。近くにあった軍需工場（日本光学）を狙ったんだろなかねえ。この辺りは比較的安全だろうって、横浜の親戚が疎開してきたんだけど、共に焼けてしまったよ。

新作に戦闘機グラマンが落ちたことがあって、見に行ったら操縦士は連行された後でした。今の虎ノ門病院のところに高射砲の基地があって、天界灯で照らして撃ってるのが見えたけど、とても敵の爆撃機や戦闘

機まで届いているようには思えなかったよ。負けはわかっていたんだらうね。

◆戦後のこと

家が焼けてトタンで作ったバラック小屋だったので、ラジオもなかったのかなあ。8月15日の玉音放送は覚えていないんですよ。材木もないし、疎開などで壊した古材で、二子の大工さんに平屋の家を建ててもらい、あちこち直して50年ほど住みました。

現在は兼業農家で、また都市近郊であり農家同士楽しく露地野菜を耕作しています。

◆生活の様子など

まだ多く農業をやってる地域だから、戦時中も食べ物には不自由した記憶はありませんよ。でも、食べるものは麦ごはん、すいとんでした。味噌、醤油も自家製で、家では肉なんかほとんど食べられなかったです。カレーの具はジャガイモとカツオ節でしたよ。それに醤油をかけて食べました(笑)。

テレビは東京オリンピックの昭和39年に買いましたね。当時、プロレスが人気で、テレビを買う前は、力道山の空手チョップ、シャープ兄弟の試合を、親父、兄弟で溝口の電気屋さんの広場、近所の店とか、何軒か見にいきました。

電話は末長で一斉に申し込みましたね。一軒一軒工事が始まり、順番でやるため引けるまで時間がかかりました。それまでは

あまり使いませんでした。近所の家で借りてました。

◆近隣の様子など

昔はこのあたりは畑より田んぼで、道場ジャリ道でしたね。

店は1軒あって、酒、食料品、燃料、駄菓子など、要するに今のスーパーです。

そのうち畑や田んぼに家が建つようになった。親父は土地が売れるなんて信じられないって驚いてましたよ。海軍用地(現末長中町町会)は坪500円くらいだったかなあ。

オリンピックがあって、田園都市線が開通して、そのころから土地の値段がどんどん上がって行きました。

大金を手に入れた人が札束を持って二子新地へ繰り出して遊んだなんて噂も聞きましたね(笑)。

田んぼのあったころはホタルもいっぱい飛んでました。イタチだのカブトムシだのもいて、自然がいっぱいでしたよ。カブトムシやクワガタはまだいるけど、数が減りましたねえ。逆にアライグマとかハクビシンなんて外来種は近年になって増えて、野菜への被害も増えてます。ハクビシンはトウモロコシ、トマトやスイカを食べてしまって、被害が大きいんですよ。

この辺りは昔も今もお祭りは盛んですよ。杉山神社のお祭りがありますからね。盆踊りは町会が行っていますが、秋の例大祭は

毎年体育の日に近い土日の2日間です。賑やかですよ。芸人さんと呼んだりね、子ども神輿も繰り出します。

杉山神社は戦後に一度焼けてるんです。子どものイタズラが出火の原因でした。今は再建して鉄筋になりました。

この辺は関東大震災のときにも倒れた家もないし火事もなかったし、台風でも水の心配はないし、大災害にあったことがないんですよ。大きな事件や事故も起こったことがないし、いいところですよ。

最後になりますが、先ほど戦争のときの話をしました。とにかく、もうあんな思いはしたくないですね。戦争はやっちゃいけない。永久の平和を願って、お話を終わらせていただきたいと思います。

(平成26年8月18日実施)